

Kapow Katalyst エラー取扱ガイド powered by BizRobo

本資料は、BizRobo における主ソリューションである Kapow Katalyst が出力するエラーの取り扱いに関するガイドですが、対象としてはロボット運用開始後の Management Console 上で表示されるエラーに関する内容となります。

目次

エラーの種類.....	2
● インターナルエラー.....	2
● 実行時エラー.....	2
エラー情報の見方	3
ログ画面の種類	3
エラーログ情報の見方.....	4
エラー箇所の表示方法	5
実行時エラーのパターンとヒント.....	5

エラーの種類

Kapow Katalyst がシステム上出力するエラーには大きく二つ、システム自体が出力する「インターナルエラー」とシステム上で稼働するロボットが出力する「実行時エラー」が存在します。以下、それぞれのエラーに関する解説と、対応方法について記述致します。

● インターナルエラー

Kapow Katalyst 自身が何らかの理由により動作を継続できなくなった結果出力されるエラーです。本エラーは正常にシステム自体がセットアップされていない場合や、リソース不足などによりシステム自体が正常に動作していない場合に発生します。

エラーの判断方法

出力されるエラーメッセージが「Internal error …」という文字列から始まる場合

エラーへの対応方法

ユーザ側で対応できることは限られますので、下記エラーに関する情報を整理の上、技術サポートへ問合せください。

1. エラーの詳細（発生の状況・条件・タイミング、再現性の有無など）
2. Application Data Folder 配下 Logs フォルダ内に存在するログファイル
3. エラーの発生しているシステムの情報（利用中の kapowKatalyst のバージョン、OS、CPU、RAM など）

● 実行時エラー

RoboServer がユーザの作成した robot ファイルを実行した際に出力するエラーです。本エラーは robot 実行時に RoboServer 側で検知して出力される他、特定の条件を満たした際に強制的に出力するようにユーザ側で設定（“Generate Error” アクション命令使用）することも可能です。

エラーの判断方法

インターナルエラー以外の全てのエラー

エラーへの対応方法

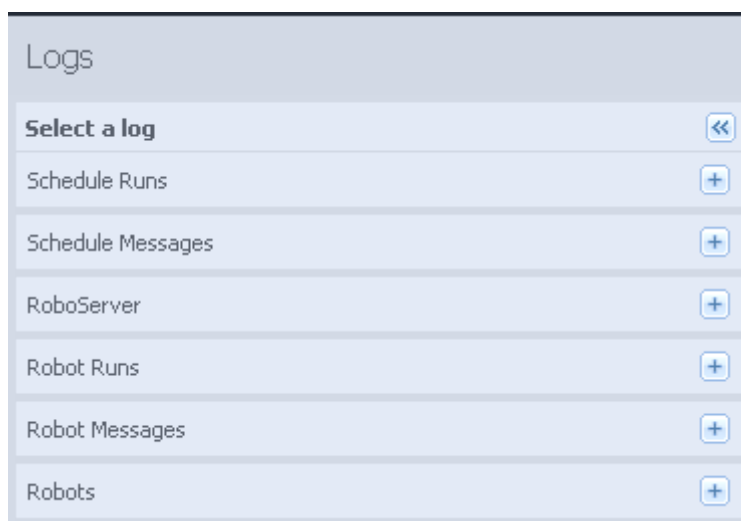
別途「実行時エラーのパターンとヒント」にて整理。

エラー情報の見方

エラーの情報は KapowKatalyst セットアップ時の設定情報により、Management Console、通知メール、および log4j ファイルの形式で確認することができます。本文書では Management Console に表示されるログ情報に基づいて、エラー情報の見方について解説します。

ログ画面の種類

Management Console の Logs タブを選択の後、表示される画面の左側ペインから表示するログの種類を選びます。



Schedule Runs :

スケジューラの実行ログ（開始終了時刻とスケジュール毎のエラー数等のサマリ）

Schedule Messages :

スケジューラの実行ログメッセージ（実行スケジュールに対するメッセージ：エラー情報含む）

RoboServer :

RoboServer の稼働状況ログ（サーバシャットダウン、起動実行の記録：エラー情報含む）

Robot Runs :

ロボットの実行ログ（開始終了時刻とロボット毎のエラー数等のサマリ）

Robot Messages :

ロボットの実行ログメッセージ（実行ロボットに対するメッセージ：エラー情報含む）

Robots :

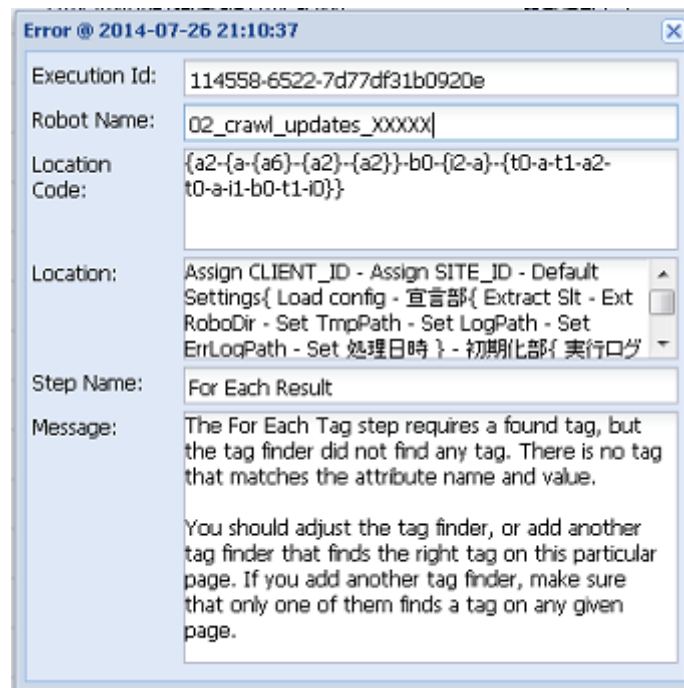
ロボット毎の実行回数やエラー発生数などの集計情報の表示

エラーログ情報の見方

Robot Messages におけるエラーメッセージを例に解説します。

Date	Severity	Message	Details	Step Name	Location Code
2014-07-27 05:00:31	Error	Error from the Generate Error action....		複数件数エラー	{{a-{{a8}}-{{a2}}-{{a3}}}}
2014-07-27 05:00:25	Error	Error from the Generate Error action....		複数件数エラー	{{a-{{a8}}-{{a2}}-{{a3}}}}

エラー情報の一覧からエラーレコードをダブルクリックし、詳細画面を開きます。



Execution Id :

システム上の実行 ID

Robot Name :

エラーが発生したロボットの名称（ファイル名）

Location Code :

エラーが発生したロボットファイル内の場所・ステップのパス（Design Studio デバッグ用コード）

Location :

エラーが発生したロボットファイル内の場所・ステップのパス（ステップ名によるエラー発生個所のパス表示）

Step Name :

ロボットファイル内でエラーを発している該当ステップの名称

Message :

発生しているエラーの内容・エラーメッセージ

実行時エラーについては、エラーメッセージを読むことでエラーの現象については把握可能なものの、具体的に何が原因で発生しているエラーかについては、多くの場合エラーログ情報を基に実際にエラーを発生させているロボットを Design Studio で起動し、Location Code で示されるステップを開いてみない限りは明確につかむことは難しいでしょう。

エラー箇所の表示方法

実際にエラーの発生した箇所を Design Studio で表示するためには以下の 2 つの内、いずれかの方法で実施。

1. Logs 画面のログ一覧から Location Code のリンクをクリックして Design Studio を起動する。
2. 既に開いている Design Studio 上のロボットに対し、[Ctrl]+[G]で Location Code を指定してジャンプする。

※ ただし、ロボットの作りやクローリング先サイトの状況によっては Location Code へ直接ジャンプすることができない（途中でエラーが発生する）場合がありますので、その場合には別途手動でエラー原因を取り除き、エラー発生ステップに到達するようにしてください。

実行時エラーのパターンとヒント

BizRobo システムの運用において対応すべき実行時エラーについて、その主なパターンと対応のヒントについて解説致します。

エラーメッセージパターン	ヒント
Error from the For Each Tag action. No tags to loop through.	繰り返し処理(For Each Tag)において、対象のタグが見つからない場合に発生します。原因は様々なので、Design Studio で実際の画面を開いて状況を確認します。
The Click action requires a found tag , but the tag finder did not find any tag . There is no tag that ...	ボタンやリンクのクリックにおいて、対象のタグが見つからない場合に発生します。原因は様々なので、Design Studio で実際の画面を開いて状況を確認します。
Error from the Select Radio Button action. Could not load from the URL "http://... The target server failed to respond	ラジオボタンをクリックすることでページを開く処理において、アクセス先の URL からレスポンスがない場合に発生します。原因はアクセス先サーバの過負荷やダウンであることが多いです。
Error from the Click action. 503 Service Unavailable loading from http://..	接続先サーバとの通信がうまくいかずに相手先サーバから返されたエラーコードを表示しています。同様のエラーとしては、500 や 501、404、403 等

<p>Error from the Click action. <u>The action timed out after</u> 180.0 seconds.</p>	<p>ネットワークや接続先サーバ、もしくは Kapow サーバの処理スピードの問題により、特定の処理（Step）がロボット内に設定された制限時間を超過してしまった場合に発生するため、Design Studio からロボットの設定値を変更して対応することもあり。</p>
<p><u>All alternatives of the Try step failed.</u> The next 2 errors provide the details. Error from the Load Page action. 503 ...</p>	<p>ロボット内で既に組み込んであるエラーハンドリング（try Alternative）により実行したエラー処理において更にエラーが発生した場合には表示されます。 処理対象サイトの表示パターンへの考慮不足等が原因の場合には、ロボットを修正する必要があります。</p>
<p>Error from the <u>Generate Error action.</u> [XXX] Error from the Click action. 404 Not Found loading from http://...</p>	<p>特定の条件化においてエラーを強制的に発生させるように、開発者がロボット内で組み込んだエラー処理（Generate Error）が実行されたことにより通知されるエラーです。</p>

以上

2014.07.27 新規作成